

東風 HARUKAZE

令和4年3月23日発行

熟議:地域防災力向上のキーマンになるためには

学びの達人

「まずは知ること、そして広めること」



令和4年3月22日（火）放課後、学校運営協議会の吉村会長様をお招きし、2・1年生の防災リーダーの皆さんと「地域防災力向上のキーマンになるためには」をテーマに熟議を行いました。

新宮東中学校2・1年生の今年の取組（防災家族会議や段ボールベットづくり、竹林保全活動など）を説明した後、吉村会長から、防災リーダーの生徒の皆さんに質問していただき、意見を交換するというものでした。生徒から出た通学路の危険箇所も、吉村会長は、さすがよくご存じでした。

「区友の祭りなど、地域行事には参加していましたか。」「ご近所に、小さな子どもや体の不自由なお年寄りはいいますか。」など、テーマに沿って20分ほど熟議をしました。

吉村会長からは、「皆さんの発言や取組にはびっくりしました。ぜひ身近な大人の人にも教えてください。特に避難所運営の時には私たちに教えてください。そして、将来、地域を守る大人として戻ってきてください。」という、キーマンへのあたたかいアドバイスをいただきました。

コーディネーター堀川先生からの「今日どんなことが学べましたか」の問いに、2年生防災リーダーから、「自分の身の周りのことからでいいので、まずは知ろうと思います。そして知ったことを広めていこうと思います。」という、しっかりとした考えを聞くことができました。

これは、前週の17日（木）18日（金）の熊本修学旅行で、熊本城や南阿蘇震災遺構でのガイドさん【右写真→】から話していただいた内容と通じるところがありました。

どのガイドさんからも「まずは自分の命を守ってね。そのために日頃から備えて!」「自分を守れたら、大切な人を助けることができるよ。」「今回の熊本で知ったことを、皆さんの故郷新宮に持ち帰って広めてくださいね。」とお話をいただいていた。2年生は、その学びを見事この熟議で発揮してくれたと思っています。

